

埼玉県 環境部 資源循環推進課長 森 美秀 様  
環境整備センター所長 永島 裕久 様

## 彩の国資源循環工場における環境調査実施に関する要望書

平成 23 年 11 月 23 日  
生活クラブ生活協同組合  
理事長 清水 泉

日頃より彩の国資源循環工場における安全で市民が安心できる運営のため指導等していただき御礼申しあげます。

私ども生活クラブ生活協同組合は、「生活の安定と生活文化の向上を期すること」を目的に、生活者である組合員が主体的に、日常の生活課題に対して解決に向けた取り組みを埼玉県内で実践しています。

その一つとして、ごみ問題については、1974 年の設立当初から、「生産－消費－廃棄」の循環を視野に入れた活動取り組みを進めています。その要諦は消費の場から極力ごみを出さない、環境に負荷を与える危険物質は扱わない、ひいてはごみになるようなものは扱わないということで、今日リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）を基本とした生活スタイルを確立させるために、組合員一人ひとりが理解し、実践することを目標に学習会等の実施など、組合員活動として積極的に取り組んでいます。

さて標記の「彩の国資源循環工場における環境調査実施」については、2007 年に彩の国資源循環工場における排水汚染事故（有害物質の鉛を含んだ排水汚染）に対して埼玉県への意見書を提出した経緯もあり、その後も周辺の生活クラブ組合員が市民の側から、彩の国資源循環工場の安全・安心を考える活動を継続して取り組まれてきました。

この度、生活クラブの組合員が取り組んでいる「彩の国資源循環工場」の敷地内と敷地外で実施した「松葉によるダイオキシン・重金属類調査」において、水銀が高い数値を示す結果が出ている報告を受けました。（2009 年 12 月調査結果：0.09  $\mu$  g/g、2011 年 8 月調査結果：0.16  $\mu$  g/g）

特に 1 回目と 2 回目の調査結果が、約 2 倍になっていることから、大気中の水銀汚染を心配する声もあり、生活クラブ生活協同組合として、「住民が安心して暮らせるまちづくり」を組合員活動として取り組んでいるので、下記の内容を要望します。

### 記

1. 彩の国資源循環工場の敷地内外における水銀をはじめとした重金属類の大気質環境調査の実施。
2. 調査結果について、原因究明及び対応策を立てて、県民に対する情報公開を求めます。
3. ごみ問題の根本的な解決のため、埼玉県は県民および県内企業等に対し、ごみの削減を強く働きかけて下さい。

以上